

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 15 日作成)

委員会名	企画刊行小委員会	主 査 名：井上洋司
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行小委員会)	委員長名：鉾井 修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>2000 年 6 月 30 日に建築学会より出版した「雨の建築学」の続編である。出版後の反応は好評で、より多くの具体的な事例紹介を求める要望も寄せられている。「雨の建築学」は、雨水循環の基本的考え方を示すものとしてまとめられたが、その時点で事例集をまとめる方針を立てていた。出版後 2 年を経て新しい技術を用いた事例も増えており、これらを補足しつつ、雨水建築の普及を図りたい。また今後の雨水関連の法整備の動きを支える資料としても役立てたい。</p> <p>本書は、「雨水建築技術セミナー」のテキストとして用いることも想定している、店頭での書籍販売だけでなく、テキストに用いることによって、実用的かつ売れる本として位置づけている。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	井上洋司 (背景計画研究所所長 / 都立短大非常勤講師)、鈴木信宏 (東京理科大学教授)、黒岩哲彦 (株)アルキテクタ所長)、市川尚紀 (東京理科大学)、中臣昌広 (文京区役所保険衛生部)、太田陽子 (株)日本設計)、伊藤美保 (コクヨ株式会社 R&D センター オフィス研究所)、川ゲン・グイフストック (慶応大学非常勤講師)、岡村晶義 (アトリエ鯨 代表 / 法政大学非常勤講師)、長尾愛一郎 (株)北斗出版 代表取締役)、笠 真希 (早稲田大学芸術学校客員講師「インストラクター」)、鈴木敦子	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	130,000	円

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	おおむね月に 1 回の開催し、5 人から 7 人がその日のテーマに沿って議論を進めている。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 序文、目次はすでに出来上がり、各原稿の依頼を始めているところである。当初 6 月出版を目指していたが、8 月に延びる予定である。</p> <p>また昨年より懸案の、雨の建築学英訳本については、英訳費用を捻出するために、いくつかの民間の学術研究費用補助の申請を行っているが、進展が見られない状況である。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 70 パーセント
その他評価すべき事項	